



自由民主党 栗原 瑞治 6
乳幼児健診受診率向上を！

問受診率は9割を超えているが、未受診の中にこそ母子の健康・相談・虐待リスクを懸念する。未受診対応ガイドライン策定について市の考えは？

答保健医療部長 早め早めの対応が、乳幼児の状況把握や保護者の育児不安の軽減につながるものと考えていることから、今後、他市の状況も参考にガイドラインの作成に

ついて、研究・検討していきたいと考えている。



問乳幼児健診



問一部の教員による特定の生徒へのからかい行為がある。教育長のいじめゼロにかける熱意が現場に届いていないと考えるが、今後の対策は？

答教育長 いじめ対応は、いじめ防止の基本方針や対応マニュアルに基づき、いじめを訴えている子どもや保護者の側に立ち、迅速、適切な対応をとることが大切である。

いじめ撲滅に向けて、対応マニュアルなどのリ

ーフレットの活用を促し、教職員にその趣旨を浸透させ、一層の施策、取り組みを推進する。学校の報告や保護者等の相談があった案件については、子どもや保護者等の気持ちに寄り添い、一件一件丁寧な対応に努めていく。

問園庭の芝生化事業
問いじめ対策



政晴会 樋口 直喜 8
自治会の負担軽減へ向けて

問現在、庁内では自治会への各部署による依頼事項が共有されていない。負担軽減に向けて、自治会への依頼事項は全庁的に共有化をすべきでは？

答市民部長 自治会への依頼事項を全庁的に共有化することにより、市の各所管部署は、地域や自治会がどれほど多く市からの依頼事項を担っているかを把握でき、併せて

自治会長の負担を知ることでもできるものと考えている。こうしたことから、自治会への負担軽減を進めるうえで、関係する各部署とも協議し、全庁的な共有化に向けて検討していきたいと考えている。



問性感感染症の現状と対策
問自治会への支援



市民フォーラム 伊藤 正子 9
快適な学童保育を目指して

問今後、利用児童は増えると思われる。子どもが過ごす場所として、学童保育の充実が求められるが、教育長の考えを伺う。

答教育長 学童保育事業は、保護者が昼間家庭にいない児童について、生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的としており、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事を両立で

きるように支援している。子どもたちにとって、安全に、安心して過ごせる場所となるように、今後

も、施設整備や学童保育指導員の確保と資質向上を図り、学童保育室の充実に向けていきたいと考えている。

問快適な学童保育②
問川越市の自殺対策
問女性の健康



民進党 片野 広隆 10
多世代同居・近居への支援

問子供の健やかな成長や世代間交流に資する多世代同居・近居にむけた住宅リフォームや新規取得への補助制度など新たな支援策を講じるべきでは？

答総合政策部長 現在、市では総合計画に即して作成された総合戦略プランに基づき、「若者が住み続けたいまち」の実現に向けて、川越で暮らす魅力を総合的に向上させ

る施策により、若者や子育て世帯の定住支援を進めているところである。多世代同居や近居を促進するための新たな施策の導入についても、自治体の取り組みを参考にするとともに、本市における効果的な施策について検証するなど、具体的な検討をしていきたい。

問多世代同居・近居支援
問公選法改正と投票向上



公明党 田畑 たき子 11
おもてなしトイレの整備を

問子どもからお年寄り・障がい者、外国人も含めた観光客が、安全で快適に利用できる観光地トイレについて市としてどのように考えるか伺いたい。

答産業観光部長 2020年の東京オリンピックの開催も見据え、観光客の利便性の確保と清潔で快適な公衆トイレの実現に向け、建て替えや洋式トイレへの改修、新たな

観光スポットへの新設を検討する。また、観光客のインの見直し等を行い、適切に公衆トイレの場所を案内できるように努める。さらに外国人観光客については、国ごとに生活習慣が異なることから、使用方法について、多言語の説明文を掲示するなど周知を図っていきたい。

問公共のトイレ事情
問発達障がい者支援